

頸椎ヘルニアによる右腕の重度の痛みと筋肉の麻痺が改善した私の体験

佐藤 美紀

CHhom13期（在学）

インチャ10期卒

JPHF認定インナーチャイルドセラピストNo.0545

7年前2016年の年末にホメオパシーの無料電話相談にてアドバイス通りのレメディーとマザーチンクチャーをとり

上部頸椎に特化した他療法と共に頸椎ヘルニアによる重度の痛みと筋肉の麻痺が改善した私の経験をお伝えします。

サポートチンクチャーの選択

サポート神経

サポートPet04

サポート骨

レメディーの選択

Gels

Bry

痛みは最初、右側二の腕の筋肉痛のような感じでした。

当時、はまっていた編み物とテニスを少々やりすぎていたことが原因かと思い

すぐ治るだろうと軽くみていました。

痛みが出てから約2ヶ月後、右腕全体が痛くなり横になって眠れず、

日常生活ができなくなり、スポーツ系のクリニックへ行きます。

ここで筋肉の麻痺がわかります。

レントゲンとMRIの検査で頸椎ヘルニアと診断されます。

この時お医者さんに手術が必要かもしれないと言われ私は恐怖でおののきます。

クリニックから帰宅し、ホメオパシーの無料電話相談に相談します。

過去に健康相談の経験はありましたが電話相談はこの時が初めてでした。

症状や心の状態、MRI、レントゲンをとったことを伝えチンクチャーや

レメディーのアドバイスを受けながらホメオパスさんのとても冷静で暖かい対応に

私の心はしだいに落ち着いていきます。

とても不安でしたので相談する事ができて本当にありがたく感じていました。

チンクチャーが届くまで基本キッドから教えていただいたレメディーを数種類

頓服するも、痛みはおさまらず上唇の痺れも感じるようになり、もう限界

となったところにチンクチャーが届きます。

～最初にとったサポーターとチンクチャーとレメディー～

●サポーター神経＋Gels＋Bry●

500ccのお水にサポーター神経を10滴とレメディーを入れ1日かけてとります。

一口飲んだとき、すーっと楽になる感覚があり、しばらくすると痛みのレベルが

9.5から4ぐらいになり安堵感に包まれます。

～1週間後～

横になって朝まで熟睡できるようになります。

～10日後～

●サポートPET04●

サポート神経と時間を分けてとりはじめます。

真冬でしたので水は各250ccにします。

～1ヶ月後～

●サポート骨●

痛みが治まってきたのでサポート神経からサポート骨に切り替えます。

骨に良いのは夕方からと教わりましたので、前半にサポートPet04、夕方からサポート骨をとります。サポート神経は痛みが出たときにとるようにします。

このころから上部頸椎に特化した他療法を開始します。

～2ヶ月半後～

覚書は終了します。

心配だった筋肉の麻痺は3ヶ月以内に改善しました。

クリニックでやった指でする麻痺の確認方法を自分でやってみると、しっかり力が入り腕立て伏せもできるようになりました。

当時頸椎ヘルニアを検索すると手術を進める内容や筋肉が麻痺したら一生治らないと書かれていて恐怖心で一杯になりました。

幸せなことに私はホメオパシーの恩恵に預かり

手術をすることも薬を飲むこともなく改善に至りました。

なぜ頸椎ヘルニアになったのかを考えてみると、いくつか思い当たる原因のひとつに
ダイエットがあります。

無知から良さそうに思えたダイエット方法をやってしまい、

この時筋肉が減り骨も弱くなったのだと思います。

他療法の先生は首のレントゲン写真を見て私の骨の弱さを指摘されました。

2年後、骨密度検査で年齢より少しだけ若い骨密度になっていたので

少し強くなっていました。

余談になりますが他療法の先生は私が腕の痛みをホメオパシーのサポートシンクチャーで

改善した話を興味を持って聞いて下さいまして、相談会をご予約されたのです。

後日『素晴らしかった』と感想をお話くださり、嬉しい思い出になっています。

7年前の事を発表する機会をいただいたこと、そして電話相談でお世話になった

ホメパスの皆様にとっても感謝しています。

ありがとうございました。